

KYOTO JOURNAL OF PHYSICAL EDUCATION, HEALTH AND SPORT SCIENCES

京都 体育学 研究

京都体育学研究
第二十卷

ORIGINALS

Yuko YONEDA et al. : Altered protein concentrations in soleus and extensor digitorum longus (EDL) muscle following gravitational unloading 1

Naoki OKAMOTO : Effects of rope-jump training on physical fitness in middle-aged women 7

Noriyuki YAMAMOTO et al. : The physiological exercise intensity of playing park-golf in elderly people .. 15

Naoko SANO et al. : Control of body sway in classical ballet stance23

PRACTICALS

Hiromitsu KONO et al. : Effects of voluntary participation for exercise class during three month in middle and high aged women31

MATERIAL

Teiichi NAKAYAMA : Trends in throwing hands and batting styles for Japanese professional baseball players (1950-2002)39

Edited by Kyoto Journal of Physical Education,
Health and Sport Sciences

Volume 20/ August 2004

原著

米田 祐子他 : 後肢無重力環境におけるヒラメ筋と長指伸筋のタンパク質量変化の相違 1

岡本 直輝 : 中年女性における縄跳びのトレーニング効果について 7

山本 憲志他 : 高齢者におけるパークゴルフの生理学的運動強度15

佐野奈緒子他 : クラシックバレエの立位姿勢における身体重心動揺の制御23

実践研究

河野 洋允他 : 3ヶ月の運動教室への自発的参加が中高年女性の身体面へ及ぼす効果31

資料

中山 悌一 : 日本プロ野球選手の投球側と打撃様式の推移(1950-2002)39

京都体育学会だより No.2749

活動報告59

20巻記念特集68

平成十六年八月

京都体育学会

第 20 卷
平成16年 8 月

「京都体育学研究」編集・投稿規定

平成14年6月29日一部改正

1. 「京都体育学研究」(英文名 Kyoto Journal of Physical Education, Health and Sport Sciences 以下本誌)は、京都体育学会の機関誌であり年一回以上発行する。
2. 本誌は本学会会員の体育・スポーツに関する論文の発表にあてる。編集委員会が認めた場合には会員以外に寄稿を依頼することもできる。
3. 1編の論文の長さは本誌8ページ以内を原則とする。
4. 原稿は、所定の執筆要項に準拠して作成し、原著、資料などの別を指定して編集委員長あてに提出する。原文のほかコピー3部提出する。
5. 投稿論文は、学術論文としてふさわしい内容と形式をそなえたものであり、かつ未公開のものでなければならない。
6. 投稿論文は編集委員会が審査し、その掲載の可否を決定する。
7. 原稿の印刷において規程のページ数を超過した場合、あるいは、図版・写真などづくりに費用を要するものは、その実費を執筆者の負担とする。
8. 別刷は校正時に希望部数を申し出ること。実費により希望に応じる。
9. 本誌の編集事務についての連絡は、「京都体育学研究」編集委員会あてとする。
10. 編集委員会は理事会において編成する。



私のために

Just for me

나를 위해

是為我

Fait pour moi

เพื่อฉันโดยเฉพาะ

⋮

この瞬間。世界のどこかで、きっと誰かが感じてる。

世界を広く見わたせば、多種多様な、街と人。
街にカラーがあるように、そこで暮らす女性もまた、いろんな個性を持っています。
国ごとに、女性ごとに異なるニーズを見つめながら、わたしたちワコールは商品づくりを行ってきました。
けれど、それぞれ言葉や文化が違っていても、
誰もがこころとからだの“こちよさ”を求めていることに、変わりはありません。
たとえば「ボディにびたりとフィットすること」や
「肌ざわりがやさしい」ことも、ワコールがお届けする、
世界共通の“こちよさ”のひとつ。
女性たちが願う「美しさ」「快適」「健康」、その一つひとつを大切に、
ワコールは素肌にいちばん近いところでサポートしていきます。
この想いは、日本からアジアを越えて、いま、欧米へ。
うつくしい装いが“個性”となる街、パリやN.Y.の女性たちにも、ワコールは愛されています。

その次の、美しさへ。

ワコールの商品に関するお問い合わせはこちらまで。
株式会社ワコール お客様センターフリーダイヤル 0120-307-056 <http://www.wacoal.co.jp/>

